

2016

4
月号

あさお市民活動レポート

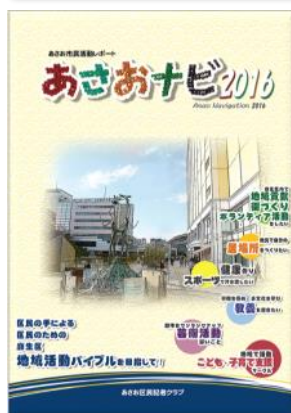
平成28年度麻生区地域課題対応事業
「あさお市民活動レポート」第2巻 第14号
発行日：平成28年4月1日あさお
ふれんずAsao
friends

発行元：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

目次

「あさおナビ2016」発刊！	1
ヤマユリいっぱいの会	2
吹込クローバーの会	2
手話サークル 横の会	3
多摩21紀会	3
突撃レポート 柿生青少年柔道会	4

「あさおナビ2016」発刊！

あさおナビ2016
オールカラー全104P

**麻生区民の手による
麻生区民のための
地域活動バイブルを目指して**

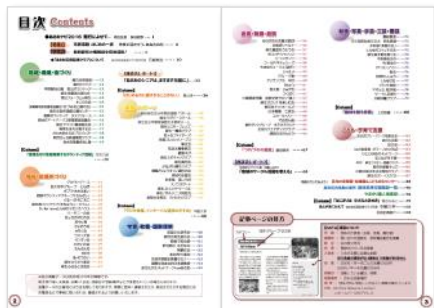
麻生区で活動する団体にスポットライトをあてて応援したいと、活動をしてきた「あさお区民記者クラブ」。

平成21年4月に第1号を発行した「麻生市民活動レポート」も、今回の「あさおふれんず」で通算22号となる。

過去に取材した110団体をカテゴリー別に編集し、さらに市民活動に利用できる施設や、区民に役立つ川崎市や区の発刊物、やまゆり達人倶楽部の講師陣紹介、そのほか何か活動したいと思ったときに相談できる窓口も紹介するなど、市民活動をするためのお役立ち情報が盛りだくさんの冊子製作を企画した。

「平成27年度麻生区地域課題解決型提案事業」を活用し、改めて取材・構成した「あさおナビ2016」がついに完成！

【配布】4月15日金曜から
麻生区役所地域振興課、麻生市民交流館やまゆりで、100部ずつ（無料）



▲目次ページ 取材した団体を7つのカテゴリーに分けて紹介。記者のコラムや座談会レポートも読み応えあり



▲団体紹介ページ 紹介記事のほか写真や詳細データも掲載。気になった団体があればすぐにコンタクト

あなたの力で地域を元気に!!

ASAO
KUMIN
Reporters



あさお区民記者クラブ 会員 募集！

現在「ペンで、地域を元気にする！」と、9名の区民記者が活動しています。

麻生区にはまだまだ紹介したい市民活動団体が数多くあります。

人に会うのが好きで、書くことが好きな方 大歓迎!!

今までの記事はWEBサイト「あさお区民記者」<http://www.asao-ku.net>で見ることができます。

ホームページ更新に伴い、D B構築、画像処理、HTML知識がある専任スタッフも募集しています。

お問い合わせ・連絡先【メール】info@asao-ku.net 代表・中島久幸

「花咲かシニアの夢」出発進行



鉢植え栽培の情報交換も活発に行われる

市民交流館やまゆりの周囲にヤマユリの花をいっぱい咲かせ、かつての自生地の景色を再現するという壮大な夢を掲げる会が発足した。その名も「ヤマユリいっぱいのかい」。

DATA

ヤマユリいっぱいのかい

代表：藤田 康郎

連絡先：Tel. 090-6548-1043

fsfujita@jcom.home.ne.jp

設立：2016年2月

会員：13名（男性8名・女性5名）

会費：無料

活動日：毎月第1水曜（13時～）
定例会（学習会・観察・作業）、
開花鑑賞会、懇親会

活動場所：麻生市民交流館やまゆり

麻生区の花であるヤマユリを、次世代まで絶やすことなく咲かせ続けるためにつなごう、伝えようとする情熱がこの会の起動力となっている。

栽培の指導にあたるのは、弘法松公園や百合丘小学校などで植栽ボランティア活動をしている藤田康郎さん。

暑さや害虫に弱く、気まぐれとも繊細とも思える原種ヤマユリ。市民交流館やまゆりの周辺は生育条件に合わず難しい。ヤマユリの育ちがよくなるというサツキを混植し、暑さや害虫対策としてイネ科の植物を植え、水はけを良くするために赤玉土を使うなど工夫を凝らしている。

「球根が気に入ってくれる環境を、どれだけ整えられるかがポイント」と藤田さんは語る。「自生地再現まで、タフな道のりを行くことになるだろう。だからこそ、このプロジェクトは夢や

冒険心を掻き立てる」と、メンバーは張り切っている。

支柱の整備やサツキ・雑草の適正化など、これからもヤマユリに優しさを見せつける作業が続いていく。

濃厚な香りを放ち群生するヤマユリをイメージしながら、夢を共有しませんか。ぜひご参加を。



種から開花まで5年もかかるヤマユリ
（早野地区のヤマユリ 2015年7月撮影）

取材・文 区民記者 落合ふみこ

吹込クローバーのかい

これが秘訣！花壇は一年中花一杯！

尻手黒川道、吹込交差点。歩道が広く丸い大きな花壇が花を咲かせている。交差点を世田道方向に進むとそこにはしゃれたウッドデッキ。なにやら看板があり、数々の賞を受けたこの花壇が「吹込クローバーのかい」の活動によるものであることを伝える。

代表に話を聞く。72㎡という広さ、数字だけではピンとこないが年に2回の植え替え、苗が1回につき1100株と聞くとそのスケールがわかる。とにかく花が大好きなメンバー、労苦をものともしない。



看板とデッキ。花壇と植栽帯

付帯する130㎡の植栽帯も管理対象である。苗の大半を（公財）川崎市公園緑地協会の支援プランで補完、家庭の生ごみを段ボールコンポストで堆肥化し、自家製腐葉土と混ぜ土作り。

コンビニのコーヒーの出がらしを通路に敷き、イペリスやタイムで緑地帯を作り広いエリアをカバー。宿根、常緑のサギゴケを花壇の縁に配し舗装からの熱を遮断。こぼれ種を鉢上げ、花期を終えた球根は翌年再利用。裏手には野草とハーブのコーナーもある。

この見事な花壇、道行く人たちからの賞賛の言葉はボランティアのはげみとなり活力に循環する。「全国花のまちづくりコンクール」*優秀賞受賞の快挙はさらなる自信であろう。



活動力にあふれた緑の番人たち

DATA

吹込クローバーのかい

代表：阿部 貴紅子

連絡先：Tel. 044-987-5336

abekey@jcom.home.ne.jp

設立：2011年4月

会員：15名

入会金：なし

会費：500円/年

活動日：第2金曜 10～12時
第3土曜 14～16時 ほか

活動場所：尻手黒川道路吹込交差点
付近花壇と植栽帯

*「全国花まちづくりコンクール」は公益財団法人日本花の会が母体組織。2015年第25回コンクールの団体部門応募総数は1624団体。そのなかから優秀賞に選ばれた

取材・文 区民記者 景山 茂



「アイ・ラブ・ユー」の手話で笑顔がいっぱい

街角で手話を見て、聴覚障がいの方と気づいても、手話ができる人は少ないので、声をかけるには、かなり緊張すると思う。ところが、取材の場で勧められ、初体験の筆者が自己紹介を試みたが、身振り手振りでも、なんとか通じた。まずは試してほしい。

手話の学習は初級と中・上級にわかれる。聴覚障がいの方が講師をつとめ、手話通訳がつくので初心者でも安心だ。



「桜の花」を表現する

手話サークル 横の会

身振り手振りからはじめてみよう

この日は、初級者は食べ物の表現を学んだ。「もりそば」と「ざるそば」など、微妙なニュアンスの違いまで手話で伝えていく。意外な技法にはドット歓声があがる。中・上級者は会話の練習。手話の単語の表現だけでなく、表情や視線、身体の動かし方も大切とのこと。会話のなかにはパソコンの専門用語が多いので、手話の知識もかなりのものと感じた。

「会の趣旨はサポートではない。手話の勉強とコミュニケーションを通して、お互いの理解を深め合う場である」という代表の言葉が胸をうった。

会の抱負は、誰でも手話ができる社会の実現とのこと。4月22日から5回、「手話入門教室」が百合丘老人いこいの家で開かれる。興味のある方はぜひ連絡をとってほしい。



手話ひとつにも熱意がこもる

DATA

しゅわ まき かい
手話サークル 横の会

おやまだ くみ こ
代 表：小山田 久美子

連絡先：Tel. 044-988-5576

設 立：1984年11月

会 員：22名（男性4名・女性18名）
聴覚障がい者2名含

会 費：3000円/年

活動日時：月曜 10～12時

活動場所：カトリック百合ヶ丘教会

取材・文 区民記者 中島久幸

多摩21紀会

知的な懇談と素敵なケーキで今日も満席

多摩21紀会はちょっと「硬派」な懇談会である。それは今後予定されているテーマ「地域活性化の考え方」、「オマーンと日本」（いずれも仮題）などからも理解できる。

ひつま
代表の榎間さんによれば「話し手である話題提供者から、聞き手である出席者への一方通行ではなく、相互に対等に意見交換する場でありたいと願っている。だから、ここでは大学教授でも『先生』ではなく『さん』づけです」とのこと。



ケーキの味、香りを伝えられないのがとても残念。こんなにおいしいのに！

確かに聞き手にも漫然と聞き流している人は見当たらず、テーマに沿って熱心な質疑が交わされていた。

そんな骨の折れる会なのに、毎回会場は満席になるという。記者にとってそれは謎の一つだったが、休憩時間に疑問は氷解した。榎間夫人お手製のケーキ、そして心優しくも用意された飲み物。一説によればこのケーキ目当てに参加される人もいるという。

甘いケーキと飲み物のように、楽しい活動の一方で、こうした堅い活動も必要なのだろう。「趣旨を理解され、継続的に参加される方を歓迎します。」とのことなので、参加されてはいいだろう。



講義風景 講師の熱意がそのまま全員に伝わる。部屋の空気が熱い



DATA

た ま ざかい
多摩21紀会

ひつま みちお
代 表：榎間 道夫

連絡先：Tel. 044-987-7560

設 立：2002年9月

会 員：出席者は20～30名/1回

会 費：300円/1回

活動日：毎月第4火曜（8月、12月は休み）

活動場所：麻生市民交流館やまゆり

取材・文 区民記者 仲原照男

柿生青少年柔道会 柔道を通じて青少年の健全な育成を目指す

エイ、ヤー！子どもたちの元気な声が道場に鳴り響く。そう、ここはアジサイでも有名な柿生の浄慶寺前にある「柿生武道館」だ。小学生と中学生以上の青年男女約50名が稽古にはげんでいる。稽古をつけているのは、会長の柔道7段松澤彰先生をはじめ15～16名の有段者の先生。女性の先生も1名いらっしゃる。ここを巣立った門下生たちもときどき教えにこられるそうだ。リオデジャネイロ・オリンピックに出場が期待されている門下生もいる。道場は神棚も備えられ、冷暖房も完備された、「講道館」認定の道場だ。



黒帯を目指して、稽古にはげむ少年たち。白帯からはじまって橙、黄、水、緑、紫、茶と進級していき、初段になると黒帯になる。

「柿生青少年柔道会」は48年前の1968年にスタート。1973年に地域の人たちから寄付をしてもらい、先生たちと親ごさんたちとで、一から手作りで道場をつくり上げたことがはじまりだ。その間、柿生川周辺に桜の苗木を植え、今では大きく育って多くの人を楽しませている。

同会は試合で勝つだけの指導だけではなく、受け身を覚えてケガをしない体、礼儀作法、社会に出てどんなことがあっても負けない精神力、などをきたえることを指導方針としている。また、定期的に周辺地域のゴミ拾いもするなど社会奉仕もしている。

柔道は1882年に嘉納治五郎がはじめた武道であるが、いまや世界中に普及している。今後ますますグローバル化する社会、お子さんやお孫さんが世界で活躍できるタフな日本人になれるように稽古に通わせてみたいか、がだろう。



新年の武道始め(鏡開き)
年のはじめには、神様にお祈りして稽古がはじまる

DATA

かきおせいしょうねんじゅうどうかい
柿生青少年柔道会

会長：松澤 彰

連絡先：Tel. 044-987-4395

設立：1968年6月

会 員：約50名（うち女子7名）

入会金：4000円

会 費：少年部 3000円/月

青年部 4000円/月

練習日：少年部

火曜 18時～19時30分

木曜 18時～19時30分

土曜 18時～19時30分

日曜 9時30分～11時30分

青年部

火曜 19時30分～21時

土曜 19時30分～21時

日曜 12時～13時30分

練習場所：柿生武道館

ホームページ：

<http://homepage2.nifty.com/KAKIOJUDO/>

フェースブック：

<https://www.facebook.com/kakio.judo>

取材・文 区民記者 上治信義

取材申込受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」

そんな声に区民記者が応えます。

お申込み内容を編集会議で検討したうえ
改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

- ① 団体名
- ② 代表者名
- ③ 連絡先(電話・FAX・メール)
- ④ 活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

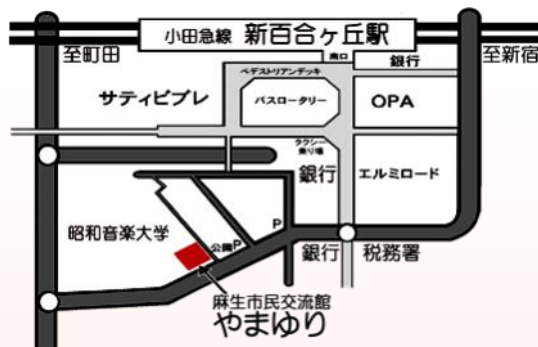
Mail  info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者クラブ

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5

Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467

URL <http://web-asao.jp/yamayuri/>

Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分